

平成29年度 農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換会の結果（29年12月）

開催月日	参加者の概要等	主な意見	主な意見への対策
12月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県青年農業者連絡協議会役員（6名） ・大分県 ・大分県農地中間管理機構 参加人数：10人 	<ul style="list-style-type: none"> ① 畑の集積に当たっては、土壌の質を均一にするため、土壌改良が必要である。 基盤整備による区画拡大と土壌改良をセットで行うようにしてもらいたい。 ② 農地の貸し借りが進まない地区だったので、就農の際は親類や知り合いのあっせんで農地を確保した。 ③ 農業振興地域外であり、条件も悪い中、地域の集落営農法人のお世話もあり就農したが、農地の拡大に当たっては、JAの職員のお世話で隣の町の空きハウス付きの農地を確保した。 作付品目もいちごの土耕を進められ、準備を進めているところである。 ④ 繁殖牛55頭を飼養し、あわせて、WCS用稲を10haで作付けしている。 知り合いの紹介で農地を確保しているが点在している状況である。 	<p>今回いただいたご意見は、今後の農地集積・集約化の推進に向けた課題として確認させていただきました。</p> <p>今後、機構として具体的な仕組みへ反映できるものはないかを県などの関係機関と十分検討し、可能な限り対応していきたいと考えています。</p>